

きさらぎ：「衣」を「更」に「着」る → 衣更着と書いて「きさらぎ」とも読む。

後期学校評価アンケートの結果

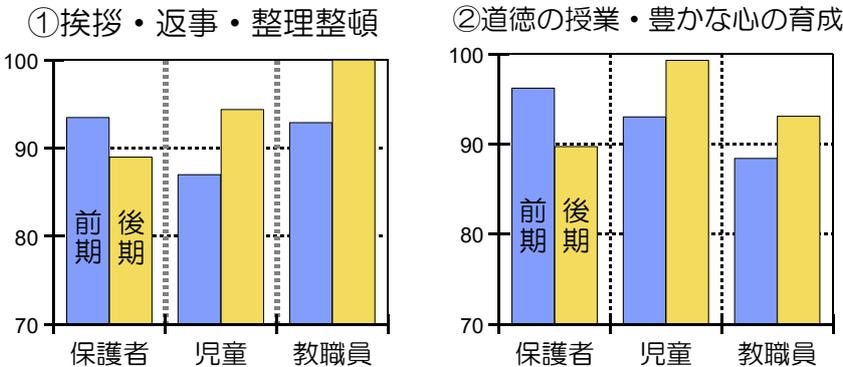
**皆様のご協力
 ありがとうございます
 ございました**

過日実施いたしました後期の学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果をご家庭や地域の皆様にお知らせいたします。また、アンケート結果を各校務分掌の年度末反省で活用し、職員会議（年度末反省会議）を通して、今後の学校改善に生かしてまいります。

前期と後期の結果を比較しました

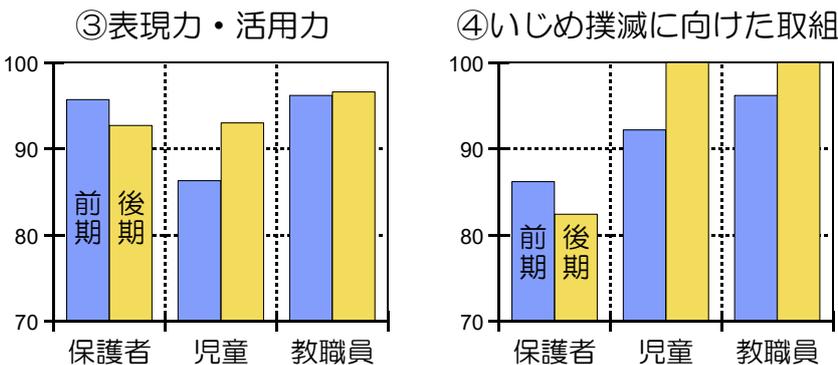
※よくあてはまる、どちらかといえばあてはまる割合の合計を比較

保護者の評価がダウン(児童は改善)



①挨拶・返事・整理整頓
 児童と教職員の評価は改善したものの保護者の評価は90%を下回りました。特に、挨拶に課題があると考えております。「自分から進んで挨拶ができているか」「相手に伝わる声や表情で挨拶ができているか」の日常的な指導を継続するとともに、ご家庭の皆様にも引き続きご協力をいただきながら改善に努めてまいります。

児童が大幅アップ(保護者は課題)



②道徳・豊かな心
 同じく児童と教職員の評価は改善したものの保護者の評価は90%程度となりました。引き続き、道徳の授業参観を積極的に行うとともに、子ども達の心の成長を学校だよりや学級通信等を通じてご家庭に発信していきたいと考えております。また、道徳授業の更なる質の向上に努めてまいります。

③表現力・活用力

児童の評価が大きく向上しました。今年度、「主体的に学びに向かい、考えを伝え合う子どもの育成」を校内研究のテーマとして取り組んだ成果が子ども達の評価に現れました。引き続き、考えを伝え合う学習活動や、学んだことを生かす（活用力）を育てる授業づくりに努めてまいります。

④いじめ撲滅に向けた取組

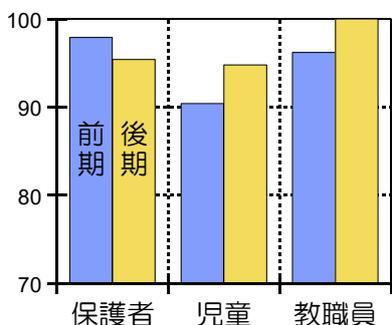
児童アンケートが100%となりました。子ども達と向き合い、粘り強く取り組んできた成果です。

一方で保護者評価が、児童・教職員と比べ大きく下回っております。保護者評価が低い背景には、いじめのきっかけとなるような小さなトラブルやもめ事を解決しないまま帰宅していることも要因の1つと考えております。引き続き、子ども達の行動や表情などに注意を払うとともに、相談しやすい雰囲気づくりや関係づくり、家庭との連携に努めてまいります。

今後も未然防止を最重点課題としながら、発生時の早期対応・解決に向けて校内体制を整えてまいります。

高評価を維持

⑤学習のきまり・基礎的な学力



⑤学習のきまり・基礎的な学力

保護者・児童・教職員がいずれも95%以上となり高評価を維持することができました。

学習のきまりや基礎的な学力は、学習活動において最も重要な土台となります。現状に満足することなく、保護者・児童・教職員のすべてが100%となるよう、統一した指導や丁寧な指導、個に応じた指導・支援に努めてまいります。

また、宿題や家庭学習、情報共有を通して、ご家庭とも連携し、子ども達の学力の向上に努めてまいります。

※保護者の自由記述については、次号でお伝えして行きます。



グリーン森の子の歩くスキー



体育のスケート学習

ボランティアの協力に感謝

年が明けても降雪がなく、完成が心配されたスケートリンクでしたが、予定通りの学習を実施することができました。

新型コロナウイルスの影響により、例年より人数を縮小しましたが、今年度もスケートと森の子学級の歩くスキーをボランティアの皆さんにサポートしていただきました。

スケート学習は、柴田美美子さん（地域）と田村美樹さん（PTA）、歩くスキーは水野弘一さん（PTA）にご協力いただきました。帯広市の学校支援地域本部事業を活用し、ボランティアの皆さんにご協力いただいております。今後も感染症対策に留意しながら、外部講師の積極的な活用を行っていきます。



医師・歯科医・薬剤師と学校関係者で組織する「学校保健会」にご助言をいただき、各学年にマスク専用のゴミ箱を設置しました。引き続き、関係機関と連携し、新型コロナウイルス対応に努めてまいります。

